

かみぶらの平成16年度

まちの予算

上富良野町には、とれだけの収入があり
どのくらいのお金をかけて、どのような事業を行うのか
それを計画したものが『予算』です。
3月定例議会で平成16年度予算が決まり
これからの1年間予算に基づき
さまざまな施策が進められます。
ますます厳しい財政状況の中、いかに健全財政を維持し
住民サービスを提供していくのかが求められています。

はじめに

国の地方財政計画によりますと総額は前年度比1・8%の減、3年連続のマイナスとなり、それに連動し町の収入のおよそ4割を占める地方交付税については、前々年度から実施されている事業費補正の見直し、小規模団体への配慮として行われてきた段階補正の

見直し等による基準財政需要額の大幅な縮減等を盛り込み、総額においては前年度比6・5%の減、臨時財政対策債を含めると実に11・9%の減となるなど、町財政へ大きな影響を及ぼし、年々厳しさを増しています。
その中において平成16年度においては、昨年度の「しろがね地区」に続き、「フラスノイ地区」国管かんがい排水事業負担金の償還がはじまるとともに、高齢

平成16年度上富良野町各会計予算

(単位：万円) 千円単位四捨五入しています

会計名	平成16年度	平成15年度	比較	対比	一般会計からの補助・繰出金等		比較		
					平成16年度	平成15年度			
一般会計合計	79億5,300万円	98億2,500万円	187,200	19.1					
特別会計	国民健康保険特別会計	11億6,879万円	11億5,540万円	1,339	1.2	12,266	13,229	963	
	老人保健特別会計	13億9,231万円	13億9,290万円	59	0.0	9,440	8,578	862	
	公共下水道事業特別会計	3億9,570万円	5億7,510万円	17,940	31.2	18,116	22,574	4,458	
	簡易水道事業特別会計	2億3,314万円	8,060万円	15,254	189.3	4,417	4,910	493	
	介護保険特別会計	5億7,302万円	5億6,300万円	1,002	1.8	9,997	9,485	512	
	ラベンダーハイツ事業特別会計	2億7,770万円	2億9,760万円	1,990	6.7	570	2,150	1,580	
特別会計合計	40億4,066万円	40億6,460万円	2,394	0.6	54,806	60,926	6,120		
公営企業会計	病院事業会計	収益的収入	9億1,981万円	9億7,266万円	5,285	5.4	25,000億 5,300万円	24,539	461
		収益的支出	9億1,981万円	9億7,266万円	5,285	5.4			
		資本的収入	8,145万円	6,016万円	2,129	35.4			
		資本的支出	8,145万円	6,016万円	2,129	35.4			
	水道事業会計	収益的収入	1億8,465万円	1億8,750万円	285	1.5	1,087	1,079	8
		収益的支出	1億8,465万円	1億8,750万円	285	1.5			
		資本的収入	110万円	106万円	4	3.9			
		資本的支出	7,571万円	6,090万円	1,481	24.3			
公営企業会計合計	収益的収入	11億0,446万円	11億6,016万円	5,570	4.8	26,087	25,618	469	
	収益的支出	11億0,446万円	11億6,016万円	5,570	4.8				
	資本的収入	8,255万円	6,122万円	2,133	34.9				
	資本的支出	1億5,716万円	1億2,106万円	3,610	29.8				
総合計	132億5,528万円	151億7,082万円	191,554	12.6	80,893	86,544	5,651		
(参考) 上川南部消防事務組合	4億3,780万円	49,403万円	5,623	11.4	25,964	25,612	352		

化社会を支える活動拠点となる保健福祉総合センターの完成を控え、建設費に加え管理運営経費が新たに計上となるなど、依然厳しい財政調整を要する状況にあります。

このような厳しい財政状況に対処し、健全財政を維持していくことを、引き続き最優先課題と考え、平成12年に策定した「健全財政維持方針」と共に、「行財政改革大綱」及びその実施計画の着実な実行に、職員と子ども取り組みを進めてまいりました。この行財政改革も平成15年度に計画の最終年を迎えたため、新たに、これからの時代に合った行政の仕組みづくりなど、改革の取り組み計画を策定してまいります。

予算編成

本年度予算編成にあたっては、「健全財政維持方針」と「行財政改革大綱」に基づき、特に、創意工夫の点検・見直し等に重点を置き、歳入一般財源の8%（4億600万円）の削減を目標として取り進めました。

計画実施効果として、職員給与の削減、退職人員の不補充等により人件費において1億600万円、投資的事業の完了・抑制により2億5千100万円、一般行政経費の節減等により2億800万円の計5億6千500万円をそれぞれ削減しました。一方で、保健福祉総合センター管理運営、防衛周辺農業、麦乾燥調

製施設設置、減税補てん債一括償還など新規施策の展開、既存事業の充実等に伴う経費の増加、さらには、フラヌイ地区「国営かんがい排水事業負担金の一括償還、国営「しろがね地区」土地改良事業負担の増加により、結果的には6千900万円の削減となりました。このため、財源調整として繰り入れた財政調整基金については、今後も積み戻しは困難であると予測しています。

また、地方交付税、国庫支出金といった依存財源が町の歳入の8割以上を占める現実のもとでは、今までよりもなお一層厳しい財政運営を強いられることは必至の状況ではありますが、行財政改革実施計画のたゆまぬ実行と限られた財源の有効かつ効率的な運用を念頭に据え、第4次総合計画のテーマ

である「四季彩のまち・かみふらのふれあい大地の創造」の実現に向け、平成16年度の予算編成に当たりました。

町の予算総額 132億5千528万円

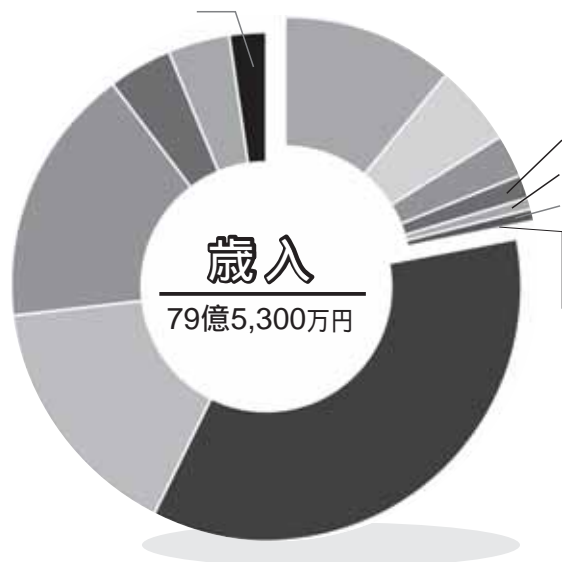
一般会計、各特別会計、企業会計を合わせた町予算総額は132億5千528万円で、前年対比12・6%の減（19億1千554万円減）、同じく減税補てん債借り換え分を除くと、130億4千78万円、前年対比14・0%の減（21億3千4万円減）の財政規模となりました。

各会計別の予算は、右表のとおりとなっています。

削減等を図った経費の 主なもの

主な取り組み	効果額
人件費の削減	
退職職員の不補充	7,600万円
新たな歳入	
広報誌への有料広告掲載実施	30万円
事務事業の見直し	
旅費の縮減	292万円
広報誌1色刷り・部数見直し	125万円
名誉町民年金の縮減	20万円
定期刊行物等の購読中止	24万円
防火駅伝大会等の中止	14万円
退職職員記念品見直し	14万円
個別受信機再利用等の見直し	89万円
在介センター居宅介護支援事業の直営化	313万円
全国町村等弔慰金の廃止	23万円
各種検診委託単価の見直し	96万円
公民館公衆電話の廃止	14万円
上高振興対策囑託職員の廃止	217万円
経常経費の見直し	
広報通信運搬費の縮減	120万円
町長交際費等の縮減	26万円
集中管理車両消耗品・修繕費の縮減	78万円
庁舎警備・管理委託経費の縮減	78万円
クリーンセンター管理用消耗品・光熱費の縮減	665万円
町道維持管理経費の縮減	809万円
各公園管理経費の縮減	219万円
ケアハウス運営経費の縮減	112万円
セントラルプラザ管理運営経費の縮減	52万円
公営住宅管理経費の縮減	262万円
税務電算委託業務経費の縮減	52万円
小中学校管理運営経費の縮減	395万円
社会教育総合センター管理経費の縮減	146万円
除排雪用機械借り上げ等の見直し	76万円
スキーリフト・町民プール開設期間の短縮	158万円
OA化の推進	
財務会計システム導入による減	52万円
例規の電子化による減	74万円
補助金・負担金の縮減	
交通安全推進委員会補助金の縮減	25万円
観光協会運営補助の縮減	144万円
富良野地方自衛隊協会等の補助の縮減	22万円
北の大文字事業補助の縮減	15万円
社会福祉協議会補助の縮減	129万円
高齢者事業団補助の縮減	75万円
在宅福祉事業補助の縮減	55万円
上富良野高校振興会事業補助の縮減	65万円
自主企画芸術鑑賞事業の縮減	10万円
町民スポーツ大会等の負担金の縮減	107万円

一般会計予算



		歳入		
	項目	予算額	前年比較(万円)	構成比(%)
自主財源	町税	8億6,737万円	263	10.9
	繰入金	4億1,316万円	2,620	5.2
	諸収入	2億1,642万円	3,474	2.7
	使用料及び手数料	1億1,922万円	343	1.5
	繰越金	6,000万円	400	0.8
	分担金及び負担金	5,861万円	732	0.7
	財産収入	1,349万円	88	0.2
	寄附金	1万円	0	0
	計	17億4,828万円	6,594	22.0
依存財源	地方交付税	28億0,710万円	16,990	35.3
	国庫支出金	13億1,190万円	26,960	16.5
	町債	12億6,520万円	135,160	15.9
	道支出金	3億2,282万円	5,916	4.1
	その他交付金	3億1,260万円	2,810	3.9
	地方譲与税	1億8,510万円	1,610	2.3
	計	62億0,472万円	180,606	78.0
	歳入合計	79億5,300万円	187,200	100

一般会計予算 79億5千300万円

一般会計は、79億5千300万円、前年対比19・1%、18億7千200万円減となりました。ただし、平成7年度から8年度に借り入れた減税補てん債の借り換えを除くと、77億3千850万円、前年対比21・2%の減(20億8千650万円減)となっています。

歳入

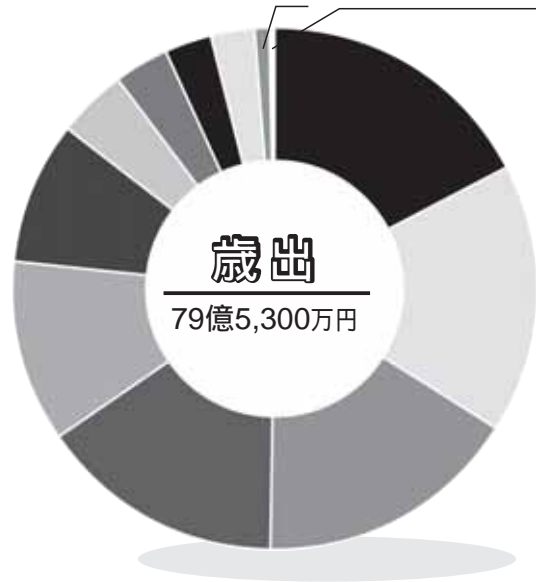
自主財源である町税は、景気低迷による法人町民税の減少、消費本数の著しい減少によりたばこ税も減少となったも

防衛庁関係補助金等一覧

補助事業名	充当事業名	金額
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業	東1条通り整備	1,470万円
	公共施設等サイン設置	1,140万円
	道路側溝整備	450万円
	南2条通り歩道設置	1,330万円
	保健福祉総合センター建設	4,900万円
	教育用コンピューター整備	180万円
	防災用発電機購入	830万円
防衛施設周辺民生安定施設整備事業	上富良野演習場周辺除雪施設設置助成	1,907万円
	演習場周辺農業用施設設置助成	1億3,840万円
防衛施設周辺防音事業	上富良野小学校(講堂)防音機能復旧	1,182万円
防衛施設周辺障害防止事業	ポロピナイ川改修	2億4,510万円
	ベベルイ川砂防工事	2,360万円
	旭野川土砂流出対策	2億2,480万円
	南部地区土砂流出対策	1億6,530万円
防音事業関連維持費	騒音防止対策事業関連維持費(保育所・小学校・中学校)	270万円
合計		9億3,379万円

の、新築家屋による固定資産税の増加等により、前年比263万円増額の8億6千737万円を計上しています。歳入全体の35・3%を占める地方交付税は、前年比5・7%減で計上しています。昨年の国営「しるがね地区」土地改良事業負担金の一括償還を終えたことから、⑩町債は13億円超える額が減額となります。また、昨年から2年連続の増額計上となった⑭地方譲与税は、新たに国からの税減移譲される所得譲与税が加わり、1千610万円の増加となっています。⑩国庫支出金の中には、陸上自衛隊駐屯地や演習場があることにより交付される防衛施設周辺整備補助金(右表参照)が含まれますが、総額では前年より2億6千896万円減となっています。

歳 出		項目	予算額	前年比較(万円)	構成比(%)
目 的 別		土木費	13億7,558万円	55,960	17.3
		公債費	13億2,728万円	21,600	16.7
		民生費	12億9,382万円	3,528	16.3
		④給与費	12億0,377万円	10,347	15.1
		衛生費	8億9,698万円	10,395	11.3
		農林業費	7億0,260万円	102,491	8.8
		教育費	3億4,201万円	12,988	4.3
		消防費	2億6,870万円	1,258	3.4
		総務費	2億3,003万円	14,126	2.9
		商工費	2億1,536万円	1,383	2.7
		議会費	7,083万円	655	0.9
		諸支出金	1,278万円	1	0.2
		予備費	1,000万円	500	0.1
		災害復旧費	245万円	414	0.0
		労働費	81万円	38	0.0
		歳出合計	79億5,300万円	187,200	100



歳出

前年度比では、多くが事業の完了や経費の節減により減額に転じている中、増額になっている。公債費は、減税補てん債一括償還によるもの、消防費は、消防用非常電源設備の更新によるもの、⑩商工費は、国の緊急地域雇用創出事業による大雪山系登山道の整備や空き店舗活用対策によるものが主な要因となっています。

一般会計の資金繰り

基本的に歳入見込み額の範囲内で歳出を組み立てますが、その時に町が行わな

一般会計の資金繰り (基金・預金使用額)		
財源調整目的	財政調整基金	1億8,000万円
	減債基金	9,730万円
特定事業目的	国内外交流推進基金	250万円
	保健福祉施設整備基金	1億0,330万円
	国営土地改良事業負担基金	2,000万円
	科学技術奨励賞基金	6万円
	農業振興基金	1,000万円
合計		4億1,316万円

なければならない課題に対応する場合は、歳入歳出差引きで不足分があると、資金繰りが必要となります。この場合には、財源不足に対処するため、創意工夫の点検・見直し等に重点を置き対応しますが、さらに不足する場合に使用する財源調整のための基金(貯金)や特別の事業目的を持った基金の活用を判断します。

本年度も、財源を補つために財政調整基金から1億8千万円と減債基金から9千730万円を、特定目的基金の保健福祉施設整備基金から1億330万円、国営土地改良事業負担基金から2千万円、農業振興基金から1千万円など、合計で4億1千316万円(左表参照)を使用するため、基金繰入金として予算を組んでいます。

第4次上富良野町総合計画が目標とする「四季彩のまち・かみふらのふれあい大地の創造」をめざし、まちづくりの4本柱、

- 人 「豊かな心の人のまち」
- 職 「活力ある産業のまち」
- 住 「住みよい快適なまち」
- 興 「共に創るまち」からなる

創意と工夫のあるまちづくりを推進します。今年の主な事業は、次のページをご覧ください。



今年の主な事業

豊かな心の



のまち

新 老人身障者センター改修
2千341万円

児童デイサービス事業等実施に要する施設改修

新 町立病院医療機器等更新
1千579万円

心電計、手術台のほか医療機器の更新、患者ベット更新

新 公民館屋根改修 700万円

老朽化に伴う屋上防水改修

継 保健福祉総合センター建設
6億2千698万円

RC2階建3,560.14㎡
本体工事、監理委託、備品購入
平成16年度秋完成予定

継 介護予防事業 360万円

虚弱高齢者の実態把握、脳卒中・転倒骨折・閉じこもり予防事業の展開

継 障害者支援事業
1億2千21万円

身体・知的障害者指定施設支援、居宅介護事業、児童デイサービスほか

継 ボランティアの町づくり事業補助
285万円

気軽にボランティア活動に取り組み

継 上富良野高等学校振興対策
615万円

教育振興会補助、入学準備金補助、修学資金貸付など

継 私立幼稚園就園奨励 964万円

幼稚園設置者に対する入園料・保育料の減免措置に対する補助

活力ある

産業のまち



新 フラヌイ地区事業負担
1億9千214万円

国営かんがい排水事業「フラヌイ地区」負担（ガイドライン分1億3千353万円・その他分5千861万円）

新 空き店舗活用振興対策 800万円

空き店舗活用・地域コミュニティ振興事業に対する補助

継 演習場周辺農業用施設設置助成事業
1億3千880万円

農協に対する防衛庁からの間接補助（麦乾燥調製施設）

継 農業基盤整備等
8千7万円 5事業

継 しるがね地区事業負担
1億4千154万円

国営土地改良事業「しるがね地区」負担金対策（しるがね土地改良区借入分）

継 森林整備地域活動支援
1千240万円

森林施策計画に基づく管理活動に対する交付金

継 富良野広域内草地組合負担
1千218万円

草地開発償還、施設維持管理、事務費などに対する負担

継 農地流動化促進対策事業補助
500万円

賃貸権設定による農地の利用集積に対する補助

継 奨励作物振興補助 900万円

施設整備、土壌改良資材・機械の導入、火山灰客土などに対する補助

継 商業振興補助
1千500万円

商店街活性化のため、商業店舗等の新築・改修などに対し補助

住

みよい
快適なまち

- 新** 町営住宅環境整備
1千434万円
水洗化工事 東中団地4棟8戸
- 継** 東1条通り整備
1千556万円
歩道工事71m
- 継** 公共施設等サイン設置
1千200万円
案内標識21基
- 継** 町営住宅建設 1億2千711万円
泉町北団地(3号棟) RC2階建
1棟8戸建設、通路整備、駐車場
(カーポート)整備、解体工事
- 継** 倍本地区飲料水供給施設改修
1千214万円
実施設計等
- 継** 里仁浄水場ろ過施設整備
1千214万円
ろ過施設改修、フェンス・取水施設等
改修
- 継** 公共下水道新設 4千109万円
汚水管渠新設、公共樹新設等
- 継** 一般廃棄物収集
3千872万円
可燃ゴミ、不燃ゴミ、生ゴミ、プラス
チック類ゴミ等の収集経費
- 継** 一般廃棄物有料化対策
423万円
一般廃棄物収集・処理有料化に係る
指定ゴミ袋の購入ほか
- 継** 合併浄化槽整備事業
2千922万円
合併処理浄化槽設置等に対する補助
- 継** 広域し尿処理施設整備負担
6千310万円
富良野地区環境衛生組合に対する負
担(施設整備151万円 償還1千302万
円、施設運営費等4千857万円)
- 継** 上富良野演習場周辺除雪施設設置
2千464万円
除雪グレーダー、車輛備品購入
- 継** 町道・橋梁整備
1億7千991万円 6事業
- 継** 障害防止事業
6億5千880万円 4事業
国直轄事業で町が委託を受けて行う
事業
- 新** 町長選挙 439万円
12月執行予定
- 新** 参議院議員通常選挙 480万円
7月執行予定
- 新** 北海道電子自治体プラットフォーム
△及び市町村用電子申請開発業務
239万円
- 継** 広報かみふらの発行 675万円
広報10月号、お知らせ版25月号発行
経費

共

に
創るまち

今年予定している道路工事

	道路名	事業内容	事業費
新規	南2条通り	歩道工事 L=150m W=2.5m	1,400万円
	北24号道路	函渠工 排水路工 L=91.3m	7,445万円
継続	西12線道路	舗装工 L=248m W=5.5m	1,000万円
	北16号道路	舗装工 L=572m W=5.5m	2,300万円
	東5線道路	改良工 L=135m W=5.5m 用地買収・地質調査 ・補償・函渠工	4,700万円
	東1条通り	歩道工事 L=71m	1,556万円

平成16年度一般会計予算説明資料は、役場1階町政情報提供コーナーに置いてあります。

